

# 共同礼拝

2024年9月29日(日) 午前10時30分  
午後4時

司式 牧師 高橋和人  
奏楽 本多友子

前 奏  
招 詞 ヨハネによる福音書 7章37b～38節  
讃 詠 546  
主の祈り  
聖 書  
詩 編 36編10節 (旧868)  
使徒言行録 10章1～33節(新232)  
祈 禱  
使徒信条  
讃 美 歌 55  
説 教 「神の前にいる」  
牧師 姜 徑米  
祈 禱  
讃 美 歌 II150  
献 金  
頌 栄 543  
祝 禱  
後 奏

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。  
礼拝は前の方から静かに着席しましょう。

## 9月の祈り

主の選びとみ救いに与り、主と共に歩んだ信仰の先達たちを覚え、残された人々に主の復活によって明らかにされた、真の命の希望と慰めが与えられるように。

伝道が力づけられるように。秋の諸行事が守られるように。夏休みを終えた子どもたちの心と体が守られ力づけられるように。

## 今日の祈り

礼拝が御言葉と主に導きによって力づけられるように。心と思いを主に向けて集中できるように。

教会の歩みを支えるために労している兄弟姉妹を覚えて。音声配信での礼拝を守るもの、体調を崩している兄弟姉妹が守られるように。

「神の前にいる」 姜 徑米

使徒言行録 10章1～33節

ペトロの、異邦人コルネリウスへの伝道が実現したのは、神様が彼らに与えて下さった幻によってでした。神様が彼らに働きかけて下さったことによって、ユダヤ人と異邦人の隔たりが乗り越えられたのです。

言い換えれば、主イエスが、聖霊によって、彼らに先立って働いていておられたのです。ペトロもコルネリウスも、先立って働いておられる主イエスのみ業を受け入れたのです。主イエス・キリストの福音は、このようにして、人と人との隔たりを乗り越えて伝えられていきます。

この使徒ペトロのコルネリウスへの伝道はペトロ

の業ではありません。神様の、主イエスの、聖霊によるみ業に、ペトロとコルネリウスが従ったのです。その時、キリストの福音がペトロからコルネリウスへと伝達されたのです。

伝道は、人間が何かをすることによって成し遂げられる業ではありません。神様がしてくださることです。しかしそこで私たちは何もすることがないのではありません。とても大事なことを求められるのです。

それは、神様がして下さるみ業を受け入れ、それに従うことです。神様のみ業を受け入れ、従うことが起る時に、人と人との様々な隔たり、溝が乗り越えられて、福音が伝えられ、伝道が実現するのです。

そしてここで大事なのは、伝えられる者よりもむしろ伝える者の方が、神様のみ業へのより大きな服従の決断を求められるということです。ペトロがそうでした。

彼はこの伝道において、自分が望んでいる、思い描いていることに留まっていようとしませんでした。自分がこうでありたいと思う自分であり続けようとすることは、神様が、独り子イエス・キリストの十字架の死と復活によって既に始めて下さっており、今先立って前進させておられる救いのみ業を拒否することになってしまいます。

伝道とは、人を神様に従う者へと造り変えることではありません。むしろ自分が、神様に従う者へと造り変えられることを通して、主イエスの福音が伝えられていくのです。これを見失ってしまうと、私たちの伝道は、人間の業になってしまいます。